

伯耆町総合教育会議 会議録(この会議録は発言を要約したものである。)

召集年月日	平成 28 年 10 月 4 日 (火)		
召集場所	伯耆町役場 応接室		
開会時間	午後 2 時 30 分		
出席者	町長:森安保 教育委員:大木寿之・田中榮美子・松岡和代※仲倉玄雄委員は欠席 教育長:後藤弥		
事務局等出席職員	総務課:齊下課長、一橋室長 教育委員会事務局:松原教育次長 景山生涯学習室長	会議録作成職員	総務室 室長 一橋 志郎
提出議案等	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1)教育委員会の平成 28 年度重点施策の今後の方向性について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		
閉会時間	午後 4 時 00 分		

会議の顛末

齊下課長	開会する。議題について教育委員会から説明をお願いします。
後藤教育長	本会議は、昨年度から開催しており、今後の教育について協議を行うものと考えており、教育基本方針を大綱とし進めていくこととした中で、その施策方針について議題として用意している。これについて意見交換を行いたいと思います。
松原次長	資料を用い、成果、課題、方向性を説明(別紙資料参照) 【学校教育関係事業】 基本方針 1 「社会の一員として自立して生きていく自動生徒の育成」 <施策方針(1) 学校・家庭・地域の連携> <施策方針(3) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進>

景山室長	資料を用い、成果、課題、方向性を説明（別紙資料参照） 【社会教育関係事業】 基本方針2「学び続けるための基盤づくり」 ＜施策方針（1）生涯を通じて学ぶための環境の整備＞ ＜施策方針（3）人権尊重のまちづくりの推進＞ ＜施策方針（4）芸術文化の振興と豊かな人間性の創造＞
松原次長	一連の資料を説明させていただいたところで、意見交換に移らせていただく。資料の順に沿って皆様のご意見等お願いします。 まずは、＜施策方針（1）学校・家庭・地域の連携＞についてお願いします。
後藤教育長	情報発信、学校により差がある。ホームページを日々更新している学校もあれば、そうでないところもあり情報発信不足を感じる。また家庭環境が難しくなっているとも感じているところ。
大木委員	学校運営協議会とPTAとの整理統合について触れてあるが、どう結び付けるのか運営上難しいと考える。PTAは、役員が当たるとか当たらないとか、また本町ではないが、会員が多くなれば、多額の予算を役員で執行するようなことがあり、全国的な課題もある。PTAに積極的に参加している家庭は、あまり問題がなく、来てほしい家庭には来てもらえないという現状がある。 ただし、PTA活動が活発なところはコミュニティースクールもうまくいっているような気がするので、このあたりの課題にも配慮しながらしっかりとやっていかなければいけないと考える。 学校統合もゆくゆくは考えないといけないので、PTA活動についても考えていかないといけない。
松岡委員	教育の2極化と同じように、PTAも出る出ないの2極化となっている。よく情報が入っている方と、全く知らない方がある。積極的な参加を促したいが、各家庭が置かれた環境が異なる。自由がきかない保護者が増えている。統合の件もいずれは考えられるので、早めの取り組みを考えたいが。学校運営協議会の事業にも、温度差を感じる。
田中委員	PTA活動、今も昔も参加については同じのように感じている。昔も出ない人は出なかった。
松原次長	今春、溝口小学校と日光小学校が統合しましたが、状況はどうか（田中委員）
田中委員	子ども達が、低学年が少し元気がないように感じる。（見守りで見ていると。）まだ、慣れないのか。子どもたちにとって良かったのかな、と感じる。ただ、全員が全員そうではない。5、6年生は元気そうに見える。低学年がまだ慣れない感じがする。
森安町長	友達との距離が遠い。今までは上級生下級生も含め、全体でという環境だったが、同級生が以前に比べると多数いる状況ができた。なので家に帰ると

森安町長	寂しいと感じるかもしれない。溝口小学校も大半の子が放課後児童クラブに行くそういった所も差が出る。またそこで塊ができるのも、放課後児童クラブのいい面であり悪い面でもあるように感じる。徐々に慣れるでしょう。最初のうちは、従前の全学年での子ども同士から同級生同士への環境変化について、うまく対応できないことが生じているように感じる。
田中委員	時間が必要と考える。
森安町長	PTA も昔から一緒、地域の役員と同じように感じる。外国はどういった状況なのか
後藤教育長	ドイツでは（どちらかが）勤めていない親も多い、そうなると学校への関心も高まり、普段から学校に親が居るような状況もある。こうなると PTA 活動も活発
森安町長	フィンランド、スウェーデンも女性が働いている。日本も関心をもってもらわなければいけないが、思いがからぶったり、反面で一部の人に負担を強いる事にもなる。かじ取りが難しい。学校を総合的によくする方向で進めばよいが、組織統合等も検討され進められることも良いが、周囲からのリクエストに答えることに傾倒しすぎ負担となるのもどうかとも思う。バランスが大切。
後藤教育長	学校運営協議会が地域との調整を行う役割を持つが、PTA と学校運営協議会がよい関係でともに役割を果たすことができれば、負担が少なくなって良いと考えるが。
森安町長	最終的には各学校長のマネジメント力につきる。しっかりとやっていただくようぜひお願いしたい。 また、気になるのは、家庭での勉強の時間が減っていると思うが
松原次長	調査によると、全国に比べ 15%程度低い
後藤教育長	伯耆町の子供は塾通いが少ない。これが影響していると考えられる。悲観的に見る必要はない。宿題や予習復習はしているようだ。
森安町長	学校の延長で塾を自治体でやるケースもあるが、基本的には、家で自分から進んで勉強しようとする姿勢がないと先々困ることになると思う。 ハンドブックを作られるとのことだが、親子で確認できるようなチェックシート等を作ってみては。具体的にできる事が、効果が見込まれると思う。（検証も必要）
後藤教育長	ハンドブック作成は、今回3分冊とする予定なので、以前の1冊と違い紛失等も少ないと考えられる。時期に応じたチェックシートは効果的と思う。家庭教育の点検を行う仕組みとして考えたい。
森安町長	自分で勉強する習慣を身に付けてもらえるよう、検討願いたい。
松原次長	続いて、＜施策方針（3）知・徳・体のバランスのとれた教育の推進＞の意見交換をお願いします。

後藤教育長	就学時検診で見とり、親との連絡調整が結構増えている。5月頃から保育所と連携し行っているが、特別学級対応や、支援員配置が増えている状況の中、保育所も大変ではないかと感じている。専門的な人を配置し、保育所や家庭を訪問すれば、保育所も楽になり学校へもつながるのではないかと感じている。就学前の専門員配置等が必要とかんじている。
森安町長	保育士や幼児教諭にそういった専門家はいない。
後藤教育長	八郷小学校にLD専門員が1名居り、時折保育所にも行っているが、単発的。
森安町長	一年間そういった方を確保して、対応していただき、効果を確認するという作業になると思う。
松岡委員	生徒（園児）の構成によっても異なると思うが、基本的なことができないまま就学するという事もある。保育所が定期的に溝口小学校に来てくれている。いい取組と思う。
田中委員	小学校は何故、こんなに勉強するのか？というのを孫から聞いたことがある。保育園から小学校というのは大きく勉強への環境が変わり、子ども達も大変と感じた。 スクールソーシャルワーカーに代わるような医学的な知識のある方による就学支援もありかなと思う。
後藤教育長	スクールカウンセラーは居るが、保育所までは手が回らない。専門家が巡回し保護者の悩みや子どもの様子を見て、早め早めに対応していかないと、難しくなってきた。アドバイスをやっていく事を、就学前の早期から行っていくことが重要。
田中委員	カウンセラー、特別支援学級対応、多くなっているとのこと。実際そのようだ
大木委員	この項目の成果は課題でもあると思う。少人数だと競争が少ない、部活の選択肢等も少ない、学力向上は、先生が良いということ、ただし先生もいずれは変わる。（異動）こういったところは考えておかなければならない。またソーシャルワーカーにより効果があるのは良いこと。しかしこの種の問題は、事例がいくらでも考えられる。こういった事はいくらやっても過ぎるものではないと思う。さらなる課題として捉えて継続的にお願いしたい。
松岡委員	そういった事を感じる場面はあった。駅伝で校内代表として選ばれるだけで満足。本当はそこから競い合う部分なので、もっと闘争心があってもいい。人数が多ければ少しは環境が変わるのでは。
後藤教育長	暗誦、弁論など、英語は抜群に良い状況。ALT もいい態勢である。
森安町長	良いと感じている。
後藤教育長	先ほどの話ではないが、ALT 何年かで異動しなければいけない。

大木委員	小学校英語の教科化の件もある。現状の先生で対応できるのか。検討が必要。
森安町長	<p>いじめ等の問題は無いのが当たり前。コミュニティスクール、少人数学級など大人の目を増やしていくことを進めることが重要。一人のためにかかわる行政サービスをどこまで基礎自治体に求められるのかは課題の一つ。全体を上げるのが行政の役割。個別案件に誰が対応すべきなのか。限られた資源でバランスをとりながら見ていく必要がある。全体的には、学校教育や保育の中でどこまで行政サービスとしてやっていくのかということ。元来は多数に対してのサービスをどこまで個人に向けやっていくか。全体を向上させる事と個別に対応していく事をンバランスよくやっていかないと結果にはつながらないと考える。</p> <p>専門家が必要なものは、専門家に頼まなければならない。</p> <p>挨拶もとても良いことだが、見ず知らずの人にまでというのは違和感を感じる。子ども達が、あいさつすべき人としらない方がいい人を社会性の一つとして身につけていくこと。この程度というところを見出すことも社会性の学習のひとつと考えられる。自然な態度、マナー、生活習慣を身に付けることが重要な事と思う。</p> <p>また、今回は載っていないが、「食育」「給食運営」についても課題意識をもつべき。地域とのつながりやアレルギーの子が増えていることなど、この場で話すことも多いと思う。次回以降にはお願いしたい。</p>
後藤教育長	食育については次回以降の協議事項とさせていただく。
松原次長	続いて＜施策方針（１）生涯を通じて学ぶための環境の整備＞について意見交換をお願いします。
後藤教育長	高齢化が進み、高齢者は楽しんでいるが、広がりが少ない状況が見られる。人口減少の影響もあると思うが、工夫が必要。
田中委員	地域の公民館ということに限らず、広くどこの地域からでも利用できるような取組が良いのでは？
大木委員	参加者も固定化して高齢化して減少している。PTA との連携などで、若い保護者の方も巻き込んで何かやるのもいい。韓国では夜１０時１１時まで学校に残って勉強している。公民館によっては待合のない施設もある。若い人が集まれる場所があるという事、公民館も固定的な考えではなく、色々な形を模索する方が良いと考える。また、自治会や地域が公民館活動を軸にしてもう少し盛り上がれば、若い方も公民館活動に参加されるのでは？

松岡委員	夏休みの事業（子供向け）に参加させていただいたことがある。平日はなかなかないので、出やすいものがあるといいなと思う。若い方が参加できるものはそういった事業しかないのかも。
森安町長	少子高齢化の中では、現状が当然の姿と思う。併せて、伯耆町は就業が外部で住居が伯耆町という方が多く地域で盛り上がりにくいという傾向も見られる。こういった現況を踏まえ、「難しい事に取り組んでいる」ということを前提におくことが重要。施設改修等実施イメージが変わればその瞬間は影響がでるが、やはり同じことになる。基盤がそういった環境にあるという前提をを十分に認識し考えてみると、個人で取り組むことを楽しむというニーズが高まっているように感じる。（ジョギング、写真等）この辺りから町ではスポーツクラブという発想に至っている。個人的なニーズに対応するコンテンツがないとニーズは囲えない。ただし、これは現状で無い事なのでやってみないと解らない。また、それを社会教育で取り組むというのも、良く考えてみなければ結論は出ないことと思う。現状ではそういった認識を深めるという事が重要と考える。
後藤教育長	個人で楽しむという形が増えてきていることは、実際その通りと感じている。
森安町長	この問題は全国的なものと思う。ゆうあいパルでスポーツクラブを計画しているが、温泉がありもともと人が集まる施設だが、社会福祉協議会が福祉のサービス提供をおこなっているので、高齢者が主体の施設というイメージが強くなっている。一回リセットしたいという思いがある。 社会教育にはこういったコンテンツは無いと思う。色んな世代が集める事ができること。こういった所にヒントがあると思う。 施設の防災面も考慮し適切な管理を行っていくが、公民館で多様なコンテンツを作って事業展開するというのは、難しい事に向かっおられるという認識を持たれるべき。 施設は簡単に統合することはできないが、しっかり施設を管理する必要がある。
後藤教育長	公的な事業と、民営事業の住み分けが必要。 従来型の社会教育社会体育を変えていかないと。あきらめて役割分担するか、その仕分けが大切。
森安町長	NHK文化教室でも変わってきている。同じ悩みがある。全国的な悩み。盛り上がる体験をしてきた人達が少なくなる。この問題は改善しにくい。民間の力が必要。
田中委員	マラソンの参加者が増えていると聞くが

後藤教育長	他自治体のマラソン大会、参加者を断るぐらいの人が来ている。一人で何かする人が確実に増えている。それに対して社会教育社会体育がどうするのが課題。
松原次長	続いて<施策方針（3）人権尊重のまちづくりの推進>について意見交換をお願いします。
森安町長	拠点施設について、テーマはそうだが、公民館的な地域の拠点としての活用も多くある。人権というテーマのみでなく、実態を見た落着き所を探すべきと思う。
田中委員	文化センターでは色々な取り組みもなされている。改装を行われたので、地域に限らず沢山の人が集まる施設になればいいと思う。
森安町長	町内にたくさんこういった施設がある。地域的にも防災面から見ても必要。テーマは重要だが地域拠点であるという実情を外さないよう進めるべき。地域の人を使いやすく寄り易いということについては重要視すべき。
大木委員	外国人も増えている、外国人の人権も今後学習していく事の一つと思うが、明るいまちづくり懇談会の参加者が少ないと聞いている。
森安町長	先週、溝口公民館で外国の伝統食による交流会が開催された。ノウハウ等に民間の力が必要と感じた。食という単純な話題で盛り上げられる。文化センターでは地域拠点の意義を外さないように、外国人の人権等のイベントに関わってみるのもいいかもしれない。負担にならない範囲で。公民館的ニーズをしっかりと守ること。
松原次長	続いて<施策方針（4）芸術文化の振興と豊かな人間性の創造>について意見交換をお願いします。
後藤教育長	本年度、初の試みとなるが、文化展を鬼の館で開催するよう予定している。
大木委員	鬼の像も考えなければいけない。
田中委員	文化展、美術館開催の際に行ってみたが、とてもスケールが大きく感じた。地区公民館まつり、参加者増と聞いているが、実際行ってみたらそうでもないイメージを受けた。内容がマンネリ化しているのではないか。
後藤教育長	今年度から日光公民館は、旧日光小での開催となる。少し今までとは変わるのでは。
森安町長	旧日光小開催、参加者が増えると思う。しかし社会体育施設同様に継続的な増加は難しいと思う。少子高齢化しており、現状維持で良しとしなければいけないのかも。個人が参加するものは、なかなかつかみきれない。

後藤教育長	町民音楽祭を丸1日かけて開催したが、午前中は中学生の出演もあり、その保護者等がいたが、午後に同好会演奏になり観客がぐっと減った。この状況に午後も観客を呼んでほしいという意見もあったが、楽しい事がたくさんある時代。その中で観客を呼ぶというのは無理ではないかと感じた。社会全体の喜びや楽しみを感じる部分は変わっていく。そういう形に変わらないと困難と感じた。出演者が「自分たちが楽しむんだ」という考えに変える時期が来ている。
森安町長	自分たちがやってきた事を、自分たちで楽しむという形に変わらないと。ただ、伯耆町にはCATVがあるので、まだそのあたりは救われる部分があるように思う。自分たちで喜びを感じる形を考えれば良いと思う。観客を無理に呼ぶのは、事業自体に影響が出ると思う。 また、文化財については、展示・保管等について施設の有効活用という考え方もあるが、A展示、B保管、C廃棄等の区分をし、まずは整理分別の上で、展示なり、保管なりを行っていく事が基本的なところと考える。 あまり過度な展示等を行っても、理解は得られないと思う。留意のうえ取り組んでいただきたい。
松原次長	課題についての意見交換は以上。
斉下課長	課題についての意見交換については以上との事ですが、この際に意見交換しておきたいこと等ありませんか。
全 会	特になし
斉下課長	そうしますと、以上をもって平成28年度の総合教育会議を終了します。ありがとうございました。